

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年も皆様からのあたたかいご支援にあずかり、おかげをもちまして無事新年をむかえさせていただくことができました。

新春を迎え、皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

例年1月号に掲載しております“新春放談”では、本年は『『モダンメディア』発刊当時の回顧』と題しまして、本誌初代編集委員の先生をはじめ、弊社より当時の培地開発担当者となわたくしも同席して収録を行いました。本誌発刊のいきさつ、初代編集委員会の様相、本誌名物記事の誕生秘話などに加え、当時の培地作製にまつわる奮闘の思い出や戦時中の研究室におけるユーモラスなエピソードなど、半世紀が経った今、大変貴重なご経験を余すところ無くご教授いただきました。収録を終え、当時の様子を継承する資料として本誌がお役にたてることを何より光栄に感じますとともに、本誌はもとより、細菌検査のたしかな礎を築いてくださった先達の偉業にあらためて感謝の意を深くいたしました。

創刊時とは異なり情報過多の時代ではございますが、今後も本誌発刊時の理念を忘れず、人々の健康の一端を担う公器としての役割を果たすべく、医療関係の現場に真に役立つ情報をタイムリーにお届けする橋渡しをしてみたいと思います。また、昨年は診療報酬点数に関する座談会が行われましたが、医療費、診療報酬点数の引き下げ等が人々の健康に悪影響を及ぼすようなことがあってはならず、このような制度面に関する話題、問題点に関しても本誌誌面に積極的にとりあげていきたいと考えております。

弊社といたしましては、日立ハイテクノロジーズに加えて、大塚製薬との資本・業務提携を進めることにより、本年も双方の技術を融合させ、より優れた製品の実現に向けて着実な歩みを続けてまいります。また、FINDとの共同事業であるLAMP法を用いた結核診断薬開発への取り組み、栄研生物科技上海工場を拠点とした製品の製造など、国際市場への展開に向けて、引き続き活動してまいります。さらに、本年4月には、子会社である栄研器材との合併を実施し、医療分野のみならずインダストリー分野も含めての事業効率化と体制強化を図りたいと考えております。

皆様のご支援のおかげをもちまして、弊社は70期を迎え、心新たな一歩を踏み出すことができました。これからも医療に貢献すべく、人材育成に励み、検査薬・医療機器の分野で皆様に望まれる製品の開発、品質管理に一層の努力をいたす所存でございます。

なにとぞ本年も一層のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

平成19年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

黒住 忠夫